



南アの里

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

令和7年1月20日発行

文責：校長 横山啓二

まとめの学期・準備の学期

2025年、令和7年がスタートしました。ニュース番組では「医療機関あたりのインフルエンザの患者数が過去最多」とあった1月10日（金）ですが、白根百田学校の玄関では「おはようございます」の元気なあいさつを交わしながら笑顔で登校する児童の姿をたくさん見ることができた3学期のスタートでした。始業式も、感染症流行の兆しが見られなかったため、体育館に集まって行いました。

始業式では校長の話として、「3学期は1・2学期よりも少ない登校日数だけれども1年間のまとめの学期であり、新学年に向けての『ゼロ学期』でもある。3学期の目標に『1つ上の学年の様子をしっかり見て学ぶこと、どんな上級生になりたいのかイメージを決めること』を加えてほしい」とお願いしました。そして「目標に向かって一日一日を大切に過ごせるように、早寝・早起き・朝ご飯と手洗い・うがい・換気に気を付けてほしい」とも話しました。

続いて「冬休みの思い出と3学期にがんばりたいこと」と題して、2名の児童代表に発表してもらいました。3年生児童は「ピアノのコンクールに取り組んだことと苦手な算数の学習の復習をして得意にしたい」と語ってくれました。6年生児童（準備をしてくれたのですが始業式当日欠席のため、代わりの児童が代読してくれました）は「いとこと集まって遊んだことと46日の3学期を最高学年としての自覚を持ち卒業式に臨んでいきたい」と綴ってくれました。聴いている児童たちも話す人をじっと見つめて耳を傾けていました。年明けに立てた目標に向かって一人ひとりが歩みを進めていってほしいと思いました。



また、教務主任より甲斐市で起きた転落事故に触れ、「遊びに出かけるときには『だれと・どこに・帰る時刻は』を家の人に伝えること」、「危険が予測される場所には近づかない」等について指導しました。



今年は巳年。脱皮して成長する蛇の姿から、1つのサイクルが終わり、新たなサイクルが始まる転換期であり、成長の完成と新たなスタートの時期と言われています。そんな一年のスタートである3学期、まとめと準備に取り組んでいけるよう、教職員一同「チーム百田」として全校児童一人ひとりを指導支援していきます。今年も本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

一画一画 集中しました 書き初め大会

3学期が始まった翌週、各学年で「書き初め大会」を行いました。課題は1年「ゆめ」、2年「きぼう」という詩を専用の原稿用紙に硬筆で書きました。3年からは毛筆で、3年「いろ」・4年「花火」・5年「信じる力」・6年「希望の光」の文字を課題とし半紙に書きました。2学期後半の書写の時間から取り組み、冬休み中も練習しました。大会当日（日や時間は学年・学級で設定しました）は、これまでの練習を踏まえて注意事項や書く時のポイントを確認してから開始しまし



た。大会中の1年生教室を覗いてみると、良い姿勢で正しく鉛筆を持ち、お手本を見ながら一画一画、「とめ」や「はらい」、文字の中心に気を付けながら書いている姿がありました。大会なので、「賞」がありますが、普段は何気なく書いている文字にじっくり時間をかけて、そして気もかけて書くという行為を緊張感をもって楽しむ時間になってくれたらと思います。



広い校庭に舞い上がりました 2年生・凧あげ大会

14日（火）の穏やかに晴れ渡った午後、2年生が凧あげを楽しみました。冬休みの友の課題で作成した凧です。休み時間では他学年の児童も遊んでいて自由に駆け回れないため、5校時に時間をとったそうです。普段の日の午後は風が出てくることが多いのですがこの日は本当に穏やかでほぼ無風でした。けれども子どもたちは自分が走ることで風を作り、凧を舞い上がらせていました。上がった凧を見るために後ろを向いて走る姿もありましたが、広い校庭なので互いにぶつかることもなく、時間いっぱい駆け回り凧揚げを楽しんでいました。



まとめと来年度へ向けての総括を行いました 委員会活動

17日（金）の6校時に、5・6年生の児童が所属する委員会活動を行いました。白根百田小学校には児童会本部と7つの委員会（放送・図書・体育・保健・給食・環境・音楽）があります。これらの活動は「望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる」ことを目的としています。どの委員会も学校生活がより快適に・より豊かになるように1年間の活動計画を立て、年間6回設定されている金曜日の6校時の他にも休み時間や朝、給食の時間や学校行事の中等、いろいろな場面で活動を行ってくれました。

この日は1年間の活動の反省を行いました。6年生の委員長さんが中心となり、年度始めに立てた目標や活動内容の反省について話し合いました。その結果を基に「全校のみなさんへ・来年度にむけて」のお願いについてもまとめ、2月に行われる児童総会で発表します。

委員会活動で、全校のために働く高学年の姿は低学年の手本やあこがれとなります。また、学級とは別の集団で異年齢の児童や担任以外の教職員との人間関係を形成したり、社会参画の態度を育成したりすることにもつながっています。自分の責任や役割を果たすことで、自己有用感や達成感を得られる場面でもあります。今年度の反省を生かし、来年度さらに充実した活動を展開し、よりよい学校づくりを行うとともに、下級生があこがれる高学年の姿を見せてほしいと思います。

